

## 1. 教育改善推進体制

電子工学プログラムを踏まえ、電子制御工学科と同一組織（体制）で教育改善を推進する。

## 1.1 教育改善委員会（\*皆本、檀上、井門）

## 活動内容

- [1] JABEE関連の年間計画の立案を行う。
- [2] 各委員会に教育改善に関係する計画を提出させる。
- [3] 各委員会の活動の状況を把握し、調整、指示を行う。
- [4] FD活動を推進する。
- [5] 数学、英語など専門基礎科目教員グループとの話し合いを行い、科目間の連携を図る。

## 1.2 カリキュラム・シラバス検討委員会（\*稲見、香川、横山）

## 活動内容

- [1] カリキュラムおよびシラバスの内容や、科目間の連携の適切さを検討し、改善案を教育改善委員会に報告する。
- [2] 授業等での学生支援のための環境整備状況を調査し、学生の勉学意欲を増進し、学生の要望に応えるための環境整備について検討する。また、環境整備案を作成し、教育改善委員会に報告する。
- [3] その他、カリキュラムおよびシラバスに関し、問題点が発生、または、発生するおそれがある場合は、遅滞なく、必要な事項を教育改善委員会に報告する。

## 1.3 教育目標達成度評価委員会（\*伊月、佐藤、王）

## 活動内容

- [1] シラバスに記載された評価方法と実際の成績評価が一致していることを確認する。その際、問題点が発生、または、発生するおそれがある場合は、遅滞なく、必要な事項を教育改善委員会に報告する。
- [2] 学習・教育目標の各項目に対する達成度の総合的評価方法および評価基準が社会の要請する水準に照らし合わせて適切であるかを否か検討し、結果を教育改善委員会に報告する。

## 1.4 学習・教育目標検討委員会（\*馬淵、尾西、平野）

## 活動内容

- [1] 電子工学プログラムの学習・教育目標に関するアンケートを実施し、分析結果を教育改善委員会に報告する。
- [2] 全学で実施された勉学アンケート、授業アンケートをまとめ、分析を行い教育改善委員会に報告する。
- [3] 企業・大学・卒業生からの評価・要望その他の意見を調査し、教育改善委員会に報告する。

- ・ JABEE受審に向けて教育改善推進体制は整い活性化した。
- ・ 電子制御工学科との合同会議も月に一回は実施されており、連携もうまく行えた。

## 2. 学科で独自に行う具体的な活動計画

### 2.1 教育改善

- [1] 授業参観・公開授業・教員研修会などの計画実施
  - ・全員が公開授業を行うことはできなかったが、すべての公開授業に1名は参加し、学科に報告しフィードバックした。
- [2] オフィスアワーの有効活用の検討
  - ・十分おこなうことはできなかった。
- [3] 低学年の指導（アドバイザー制度の活性化）
  - ・1,2年の演習科目において、電気基礎科目の指導を中心に行った。
- [4] 学生の資格取得数を増やすための方策（ガイドブック作成など）
  - ・案内は積極的に行ったが、ガイドブックの作成はできなかった。
- [5] 編入学生個人指導を行う。
  - ・電磁気学など基礎科目について指導を行った。数学にも協力を仰いだ。
- [6] 成績不振者のフォローの方法（補習などの実施）を考える
  - ・試験前などに個人的に試験勉強の面倒を見た教員はいたが、学科として取り組むことはできなかった。
- [7] その他学生の意識改革を図る方法を考える
  - ・学科で統一して、授業中の居眠り・私語などには減点を課すこととした。
  - ・さらに継続的な努力をするという教員の意識統一はできた。

### 2.2 カリキュラム・シラバスの検討

- [1] コース制を踏まえてカリキュラム・シラバスの見直し
  - ・専攻科まで統一したカリキュラムとなるように問題点を洗い出した。
  - ・改善案は検討中（学科改組が完了した後変更する予定）
- [2] 電気情報工学科・電子制御工学科とのカリキュラムの融合の検討
  - ・デジタル回路の担当者を統一するなど融合を進めている。
- [3] 実験内容の見直し、実習科目の新設
  - ・実習を多く取り入れることを柱に、統一的な内容として整備できた。

### 2.3 教育目標達成度評価

- [1] 教育目標達成度の具体的な評価方法の検討
  - ・定期試験ごとに評価しやすい内容に改善するよう取り決めた。
- [2] 成績評価の妥当性の検討
  - ・3月末までに行う。

### 2.4 内部・外部評価調査

- [1] 学校全体で行っている各アンケートを元に学科としての分析・評価
  - ・各教員が自己点検し学科で議論したが不十分な点も多い。
- [2] 学科独自のアンケートの実施
  - ・実施できなかった。

## ○ 総括的な評価と課題

教育改善推進体制は整った。次年度以降活動が活発になるようさらに努力を必要とする。カリキュラム・シラバスの検討に関しては、専攻科のことも含め問題点の洗い出しができた。今後は、電子制御工学科との融合化もさらに視野に入れ改善する予定である。